

<環境情報学部 2年 浅井雄大さん>

最近、スマホや携帯ゲームで遊ぶのが主流になっていき、外で遊ぶ子は減ったなど感じていました。でも、川に行くと一生懸命に生物を探す子や水遊びする子を見て、とても嬉しく感じました。それよりも、知らない子同士だった子が、たった3日間の間で別れを惜しむほど仲良くなり、時には足を痛めた子を助けようとしたりするなどの「友情」というものを感じられたのが一番嬉しかったです。

また参加出来るかは自分でも分からないけど、チャンスがあるかぎり参加して行きたいと思います。

<環境情報学部 2年 平野智也さん>

水生生物調査では、班の子どもたちとヘビトンボやカゲロウを捕まえる際に、活躍してくれたおかげで、多くの生物を発見できた。子どもたちの観察力と探究心には驚かされた。石徹白の大杉を目指して歩いた時には、最後まで歩いた子どもたちの体力と精神力に驚いた。さらに帰り道に班の子と歩いた時には、歴史人物について話してくれて、知識の広さに大変驚いた。

今回、班の子どもだけでなく、他の班の子どもたちの良いところもたくさん発見できたことは私にとって大きな収穫だと思う。

来年も参加できるなら、ぜひ参加したいと思える3日間でした。